



小城市立歴史資料館 * 中林梧竹記念館だより

「書に親しむ日」を開催します

書聖・中林梧竹翁のふるさと小城市で先祖から受け継いだ書の文化を普及させていくため、自由に書道を体験できるコーナーと、市内書道教室の生徒の作品展示コーナーを設けます。

- ◆日時 3月1日(日) 9時30分～14時
- ◆会場 牛津赤れんが館
- ◆参加費 無料



▲前回の様子

パネル展「肥前狛犬と肥前鳥居の世界」を開催します

市内の寺社仏閣に数多く所在する石造物で、肥前地方特有の形態を持つ肥前狛犬および肥前鳥居に関する展示を行います。同時に、同じテーマで小城の歴史講座も行います。

- ◆期間 3月10日(火)～15日(日) 10時～17時
- ◆会場 牛津赤れんが館 ◆入場料 無料

関連行事 小城の歴史講座

肥前狛犬と肥前鳥居—その源流を探る

◆講師

- かねこしんじ
・金子信二さん
(肥前狛犬を学ぶ会 会長)
- にしむらたかし
・西村隆司さん
(肥前狛犬を学ぶ会 事務局長)

- ◆日時 3月15日(日)
14時～16時

- ◆会場 牛津会館(1号室)
- ◆参加費 無料



▲肥前狛犬

おぎの歴史探検隊

肥前千葉氏三代記—千葉宗胤—〈その2〉

文永の役で亡くなった父頼胤の跡を継いだ嫡子宗胤は、蒙古の再襲

来に備えるために九州へ下向し、肥前小城で地頭職をしながら筑前博多湾の沿岸に防塁を築き、国難防備に専念しました。

1281年、再度、蒙古の襲来で宗胤はこの戦いに参加、応戦しました。かくして宗胤は、九州に長く留まったため、宗家関東千葉氏は弟の胤宗が本流となり、宗胤は九州千葉氏の祖となりました。

文化面では1278年、小城三間寺村の天台宗の寺を住職若納和尚、鎌倉の建長寺を創建した禅僧蘭溪道隆の指導により、その寺を建長寺に模して七堂伽藍様式に造り替え、名称を三間山円通寺と称し、肥



▲蒙古防塁(福岡)

前千葉氏の菩提寺としました。また鎌倉仏師運慶の流れを引く湛幸を呼んで、菩提寺円通寺を護るために四天王を造らせました。現在、木像持国天、多聞天立像二体(県重要文化財)が寺に残っています。さらに小城町門前地区にある医王山三岳寺の木像大日如来坐像、薬師如来坐像、十一面観音菩薩坐像(県重要文化財)についても湛幸の作とされています。

三間山円通寺は、室町時代、1350年に朝廷より、「興国禅寺」の称号を受け、京都の南禅寺、鎌倉の建長寺と共に日本三大興国禅寺となりました。

宗胤は1294年1月16日30歳で亡くなりました。(続)



▲三間山円通寺(小城町三間寺)

小城郷土史研究会/著

◆開館時間 9時～17時 ◆休館日 毎週月曜日・祝日 小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財 検索
【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132